

開催日時：令和7年4月10日（木） 13時00分から14時05分まで

開催場所：A301-302会議室

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、清水総務部長、佐々木企画部長、下平リニア推進部長、牧内リニア駅周辺整備担当参事、林市民協働環境部長、下井ゼロカーボンシティ担当参事、林福祉部長、山崎こども未来健康部長、市瀬産業経済部長、今産業経済部参事、小倉建設部長、馬場建設部参事、岡本危機管理部長、井田上下水道局長、齊藤市立病院事務局長（藤本市立病院事務局庶務課長代理出席）、福岡会計管理者、筒井議会事務局長、秦野教育次長、下平消防長、小澤財政課長、松井秘書課長、滝沢南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

会議内容

1 理事者あいさつ

<市長>

- ・年度初めの緊張感が緩むと、体調を崩しがちである。職員の心身の状態によく注意をすること。
- ・チームビルディングをしていく大事な時期である。職員とお互いの感じをつかみながら、チームが動きやすい状況を作っておくこと。

<副市長>

- ・臨時議会の翌週から各委員会の管内視察がある。新しい議員が多いため、長期的な課題や部局の事業を俯瞰してもらい意味で部課長は見てもらいたい施設をよく検討すること。良い視察にすることで、6月の議会にもつながっていく。
- ・質疑では単に議案の説明をするのではなく、背景や基盤になるものも含めて説明が必要となる。よく準備をして議会に臨むこと。

<教育長>

- ・今週の初めに給食の異物混入があった。飲み込んでいなかったため、健康被害はなかった。現在はクラスも落ち着いてスタートしているが、初めにトラブルがあると尾を引くことが多々あるため、スタートが大事だと感じている。同様の事案があった場合の対応の仕方について各学校に徹底していきたい。

2 報告事項

(1) 令和7年飯田市議会第1回臨時会の付議案件について

◇趣旨

- ・令和7年飯田市議会第1回臨時会の付議案件について報告する。

(2) 令和6年度一般会計補正予算（第8号・専決）について

◇趣旨

- ・令和6年度一般会計補正予算（第8号・専決）について報告する。

(3) 部局における障害者雇用の取組依頼について

◇趣旨

- ・部局における障害者雇用の取組依頼について報告する。

◇意見

（市長）

- ・率を達成すれば良いという話ではない。誰もが働きやすい職場になっているか、各職場で現状を確認した上で、その人の特性に合わせた具体的な配慮が必要となる。全体の働き方を考える中での障がい者雇用と受け止めること。

- ・各部局で検討する中で、人事課が収集している他市町村の情報も参考にしながら、人事課と相談して取り組むこと。
(福祉部長)
- ・自分の部局では無理だと思い込まないようにするには、障がい者雇用やユニバーサルデザイン研修に部長も含めて参加をし、理解した上で考えていかないと進まない。
(市長)
- ・参考になる動画研修はないのか。
(人事課長)
- ・管理職の理解を深めるためにも、研修会の開催を検討している。
- ・雇用率を上げることばかり考えてしまうと、ハレーションが大きくなってしまう。特別な支援が必要な人に対してどのように接するべきか理解を深め、取り組んでいかないといけない。
(福祉部長)
- ・こちらが配慮したつもりになっていても、本人とのミスマッチが起きる。よく話し合いながらお互いが合意して行うことが大切である。
(危機管理部長)
- ・理解していただき雇用したがうまくいかずに途中で辞められたケースが多かった。慎重に取り組む必要がある。
- ・6月に求人したときに、マッチングできるのか。ただ募集すれば良いということではない。
(人事課長)
- ・ある程度の規模になれば集団面接の形態もとれる。各部局の担当者と求職される方が意見交換できる機会を設ける等求職の状況を見ながら検討していきたい。
(教育次長)
- ・障がい者の方の生きる力になることも踏まえて、取り組んでいただきたい。

(4) 令和7年度の災害対応力強化の取組について

◇趣旨

- ・令和7年度の災害対応力強化の取組について報告する。

3 その他、連絡事項

(1) 令和7年第1回臨時会の日程概要について

(2) 令和7年度 飯田市議会本会議場 座席について

(3) その他、連絡事項

(ゼロカーボンシティ推進担当参事)

- ・水素利活用プロジェクト会議を来週頭に開催する。各課で水素の利活用についてアイデア出しをする機会を作りたい。

(危機管理部長)

- ・危機管理事案は初動が大事であると意識すること。必要なことは早急に理事者へ報告する。

(議会事務局長)

- ・議会への報告、連絡にも配慮いただきたい。

(市長)

- ・基本的には重大性緊急性に応じて、プレスリリースにするのか記者会見にするのか判断することになるが基準が分かりづらい。案件として緊急性はなかったとしても、一人一人の記者に時間をかけて対応するのは大変であるため、複雑な事案については記者会見を積極的にやった方が良い。また、良い話は定例記者会見を積極的に活用すること。

(教育次長)

- ・月末にはやまびこマーチ、ゴールデンウィークにはオーケストラと友に音楽祭2025が開催される。やまびこマーチは当日申込も可能である。オーケストラと友に音楽祭2025も当日チケットもある。ぜひ参加いただきたい。

4 閉 会